

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和4年7月1日現在）

法人名	(公財) 神奈川文学振興会							
設立年月日	昭和57年4月1日 (名称変更：平成23年4月1日)	代表者名	理事長 村上 博					
所在地	横浜市中区山手町110	電話番号	045-622-6666					
基本財産等	110,000,000	円	県出資額	53,000,000	円	県出資率	48.2	%

2 法人運営における現状の課題

○当財団は指定管理者として神奈川近代文学館の運営に当たっている。令和3年度は、前年度に県の全館休館要請により延期となった特別展「創刊101年記念展 永遠に『新青年』なるもの」「樋口一葉展 一わが詩は人のいのちとなりぬべき」、企画展「三浦哲郎展」、企画展「佐藤さとの展」を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため10月24日まで予約者のみの展示観覧及び閲覧室利用とし、会議室は10月25日まで断続的に直近の会議室新規予約受付を停止し利用制限を行った。また、乗用エレベータ2機の更新工事のため、12月1日～令和4年3月31日を全館休館した。年間展示入館者数は21,200人となり、前年度8,902人から大きく伸びたが、令和元年度まで6年連続で42,000人を超える好調を維持してきた状況には程遠い数字となっている。今後も感染症対策に留意しつつ、利用者数の回復に努めたい。

○展示企画に連動した講演会等の行事、児童向け行事を含む文字・活字文化振興事業などのイベントを感染症対策に留意し実施した。高等学校文化連盟図書専門部との協力事業は感染対策のため多くが中止となったが、文字・活字文化振興の一つであるパネル文学展巡回事業では、前年度に引き続きデータ版による提供も行った。今後も中・高・大学などの教育機関、類似施設、出版社、企業団体との連携を図り、若年層を中心にあらゆる世代へ周知を行い、利用者数の回復と知名度の向上に努めたい。

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3年度自己評価
1	利用者数（展示・閲覧・会議室利用） （下段は展示関連動画等閲覧数）	人	29,787 (48,300)	(48,400)	(60,400)	(60,600)	(60,800)	A
		件	7,066 (2,600)	(2,700)	(2,800)	(2,900)	(3,000)	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため10月24日まで予約者のみの展示観覧及び閲覧室利用とし、会議室は10月25日まで断続的に直近の会議室新規予約受付を停止し利用制限を行った。予約の心理的な負担による展示観覧、閲覧室利用の減少のほか、会議室新規予約受付停止により会議室利用者数が令和元年度比で約25%となった。一方で、展示関連動画等閲覧数は順調に伸ばすことができた。				感染症対策に留意しつつ、来館利用者数の回復に努めたい。また、引き続き展示関連動画等の告知に努め、閲覧数を伸ばしていきたい。			
備考								
乗用エレベータ2台の更新工事のため、12月1日～令和4年3月31日を全館休館した。								

No.	項目	単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3年度自己評価
2	若年層向け行事参加者数 (下段はオンラインによる視聴数)	人	375 (800)	(850)	(900)	(950)	(1,000)	A
		件	552 (170)	(190)	(210)	(230)	(250)	
	自己評価 (目標未達の場合はその理由)				今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)			
	<p>高等学校文化連盟図書専門部会との共催行事は、ほぼ全てが感染対策のため中止となった。また、乗用エレベータ更新工事のための全館休館により、例年春休み期間に開催している子ども向けの映画会を行わなかったが、紙芝居のオンライン視聴数を伸ばすことができた。</p>				<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ、引き続き、子ども向けデジタルコンテンツ等、対面のイベント以外にも事業の可能性を探りたい。</p>			
備考								

No.	項目	単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3年度自己評価
3	パネル巡回文学展の実施校数 (下段は内、データ版によるパネル展利用数)	校(館)	28 (16)	(16)	(16)	(16)	(16)	A
		校(館)	10 (7)	(7)	(7)	(7)	(7)	
	自己評価 (目標未達の場合はその理由)				今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)			
	<p>県内を中心に小・中・高等学校の図書室等へのパネル文学展の巡回を実施した。また、3年度は利用者の多い公共図書館でもパネル展示を行った。従来のパネル展の利用に加え、学校でのデータ版の活用も呼び掛け、実施校を増やすことができた。</p>				<p>引き続き、学校に向けてのパネル文学展広報の充実を図るほか、公共図書館等にも利用を呼び掛けた。</p>			
備考								

No.	項目	単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3年度自己評価
4	HPアクセス数	件	192,549 (127,500)	(128,000)	(172,000)	(172,500)	(173,000)	A
		自己評価 (目標未達の場合はその理由)				今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)		
	<p>HP、SNS等での発信に加え、新たなコンテンツを公開したことや、コミックスとのコラボ企画により目標値を上回ることができた。</p>				<p>今後も新たにコンテンツを公開し、HP、SNS等での発信に加え、動画コンテンツ、資料アーカイブ等の充実も図っていきたい。</p>			
	備考							

No.	項目	単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3年度自己評価
5	「神奈川近代文学館友の会」の会員数 (下段はメールマガジン登録者数)	人	848 (850)	(900)	(950)	(1,000)	(1,000)	B
		人	1,728 (1,725)	(1,775)	(1,825)	(1,875)	(1,925)	
	自己評価 (目標未達の場合はその理由)			今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)				
	乗用エレベータ2台の更新工事のため、12月1日～令和4年3月31日の間を全館休館したことで、会員資格の延長を行うこととした。これにより会員減に歯止めはかけることができたが、目標値にはわずかに届かなかった。一方で、メールマガジン登録者数は目標を達成することができた。			文学散歩等への参加やイベントチケット確保の利便性などの特典を引き続きアピールすることで、会員数の維持、新規獲得に努めたい。				
備考								

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3年度自己評価
1	利用料金収入	千円	7,654 (8,059)	(8,259)	(8,559)	(8,859)	(9,259)	A
		自己評価 (目標未達の場合はその理由)			今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月24日まで予約者のみの展示観覧とした。会議室は県の要請により10月25日まで断続的に直近の会議室新規予約受付を停止し利用制限を行った。会議室予約受付停止により会議室利用料は令和元年度比で約27%、乗用エレベータ2基の更新工事による休館を見込んだ予算比でも約40%となり、目標に届かなかった。ただ、事前予約及び利用制限を解除した11月は一定の利用料金収入が得られ、回復基調にある。			引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、利用料金収入の回復に努めたい。				
	備考							
利用料金：1,641,240円（11月）、863,610円（10月）								

No.	項目	単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3年度自己評価
2	事業収入	千円	4,327 (5,530)	(5,830)	(6,130)	(6,430)	(6,630)	A
		自己評価 (目標未達の場合はその理由)			今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント定員を50%もしくは70%に絞り開催したことで、収入が減少した。来館が叶わなかった方のため、前年度に引き続き、講演会を収めたDVDを製作し頒布したほか、有料配信も行った。			引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、収入の確保に努めたい。				
	備考							

No.	項目	単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3年度自己評価
3	年間電力使用量	kwh	707,648 (781,300)	(781,100)	(780,900)	(780,700)	(780,500)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためには、換気量を増やすことが重要である。冷暖房効率は低下するが、換気量を増やすことで、感染症対策に努めている。同時に、空調機による電気使用の増を考慮した節電対応を行っている。				今後も節電対策を進めたい。			
	備考							

No.	項目	単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3年度自己評価
4	年間電力料金	千円	17,902 (19,350)	(19,300)	(19,250)	(19,200)	(19,150)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	最大電力使用量に留意し、料金を抑えることができた。				今後も照明のLED化等の節電対策を進めるとともに、空調機等の運転設定により電力料金の節減を図りたい。			
	備考							

4 取組実績等についての総括（法人）

○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月24日まで予約者のみの展示観覧及び閲覧室利用とし、会議室は10月25日まで断続的に直近の会議室新規予約受付を停止し利用制限を行った。予約の心理的な負担を軽減するため、WEBによる予約に加え、電話受付等もきめ細やかに対応したが、展示観覧、閲覧室利用ともコロナ禍前のレベルには戻らなかった。また、県の要請による会議室新規予約受付停止により会議室利用者数が減少した。一方、展示関連動画等閲覧数などオンラインによる取組は順調に伸ばすことができた。事業収入においては、感染症対策のため講演会等の定員を減らしての開催となったため、大幅な減収となった。今後も感染症対策に配慮しつつバランスのとれた事業を展開し、利用者数や収入の回復に努めたい。

○県内小・中・高等学校への巡回パネル文学展については、データによるパネル文学展の提供を継続して利用を伸ばすことができた。引き続き、高等学校文化連盟図書専門部会や小・中・高校との連携を図り、コロナ禍の中でも活動的な若年層のリピーターを増やしていきたい。

○外部組織と提携した講演会や朗読会、文芸映画会などを展覧会と連動させて共催し、展示動員を図りつつ生涯学習支援の活動にも力を注ぎたい。

5 取組実績等についての総括（所管課）

○令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための観覧事前予約制の導入及び会議室の断続的な新規予約停止を実施した影響で、展示室・閲覧室・会議室の利用者数は目標を下回ったが、感染症対策に留意しつつ利用者数の回復を図っている。一方で、展示関連動画等の閲覧数は目標を上回っており、引き続き積極的な発信等の取組を継続してもらいたい。

○高等学校等に展示パネルの貸出を行う「パネル巡回文学展」の実施校数は27校及び図書館1館となり、目標を達成するとともに、前年度から開始したパネル展のデータ提供についても実施校を増やすことができた。このような取組は若年層が文学に親しむきっかけになるため、今後も継続していくことが期待される。また、紙芝居や絵本の読み聞かせ等の若年層向けイベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員を減らして実施したことなどにより目標を下回ったが、紙芝居については前年度からオンライン公開の取組を行い、令和3年度は552件の視聴があった。今後もデジタルコンテンツの拡充など、コロナ禍における新たな取組が期待される。

○利用料金収入及び事業収入については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための会議室新規予約の断続的な停止やイベント定員の縮小及び乗用エレベータ工事に伴う休館の影響で目標を達成することが出来なかったが、講演会の有料配信や展覧会のオンライン配信など新たな取組を実施した。引き続き感染症対策に留意しながら、収入の回復に努めてほしい。また、友の会会員についても、乗用エレベータ工事に伴う休館によりメリットが減少したことから、目標を達成出来なかったが、会員資格延長等の対応を行い、減少幅を最小限に抑えることができた。友の会等の固定的な利用者を確保することは安定的な経営を続けるために重要であるため、引き続き新規開拓へ向けて積極的に取り組んでももらいたい。

○前年度に引き続き照明のLED化を徐々に推進し、年間電力使用量及び年間電力電気料金はともに目標を達成することが出来た。今後も感染症対策に留意しつつ、様々な側面で経費削減に向けた工夫を続けていってもらいたい。